



## 「フェアトレードカフェ」「アレックスレモネードスタンド」の活動報告です。

日 時： 令和元年11月10日(日)

会 場： 環境フェアせき2019（関市わかさプラザ）

主 催： 環境フェアせき実行委員会事務局（関市環境課内）

参 加： 自然科学部霊長類研究班 2年生1組・2組有志チーム

協 力： スターバックスジャパン株式会社 レモネードスタンドジャパン

### ◇ フェアトレードカフェ、レモネードスタンドの活動

■ コーヒー生産国のほとんどは開発途上国であり、同時に熱帯雨林気候帯に広がっています。小規模農家の多くは十分な利益を得られず、時に子どもを学校に行かせるだけの十分な利益を得られない事態に陥ることもあると聞きます。また、コーヒー農園拡大による熱帯雨林破壊も深刻であり、大型類人猿をはじめとする様々な生物の生存が脅かされています。熱帯雨林は酸素の供給源であると同時に、地球温暖化を緩和するための重要な働きもしています。

私たち自然科学部霊長類研究班では、東山動物園でゴリラの行動観察を続けると同時に、文化祭で熱帯雨林やコーヒー農園で働く人々の労働環境に配慮したフェアトレードコーヒーの試飲カフェを続けてきました。今年も、市民の方にも理解していただこうと、「環境フェアせき」での試飲カフェを開きました。多くの方々が来場され、熱帯雨林や生物多様性の保全に関する私たちのプレゼンを聞いてくださいました。まだまだ勉強不足で、プレゼンもぎこちない私たちですが、今後もこの問題に取り組んでいきます。



■ 小児がんと闘う少女アレックスが始めた「小児がん治療研究支援のレモネードスタンド」。レモネードを用いた募金活動は、全米に広がりました。現在、世界各地で支援の輪が広がっています。このエピソードを英語教科書で学んだ関高生は、昨年度からレモネードスタンドによる募金活動に取り組んでいます。

今回、私たち2年1・2組のメンバーが「環境フェアせき」で募金活動と、小児がんに関する啓発活動に取り組みました。市民の皆さんは、私たちの説明にもしっかり耳を傾けてくださいました。3万円に達した皆様からの募金は、レモネードスタンド普及協会に寄付します。

